



花かつみの里 2024



No. 38

「節分」の話です。



2月の季節行事といえば、節分が思い浮かぶのではないのでしょうか。

節分は2月3日と覚えている方も多いかもかもしれませんが、実は節分は必ずしも2月3日とは限りません。

節分は、「立春」「立夏」「立秋」「立冬」と4つある季節の変わり目のうち、「立春」の前日にあたる日です。

そして立春は、地球と太陽の位置関係によって決められ、だいたい毎年2月4日頃に訪れるため、節分はその前日である2月3日頃になるのです。

今年の立春は、2月3日(月)であるため、節分は2月2日(日)になります。

立春は暦の上で春が始まること、つまり、節分は冬の終わりの日で、翌日から新しい季節が始まる区切りの日となるわけです。

そのため、邪気や悪いものを落として、新しい年に幸運を呼び込むことを目的に、節分という行事が行われてきたのです。

節分では豆をまいて厄を払いますが、この豆まきが行われるようになったのは、室町時代頃とされています。

当時は豆ではなくお米をまいたとされており、病気などの厄災を追い払っていて、その習慣が現代でも続いています。

「豆まき集会」を行いました！

本校では、1月23日(木)の「うねめタイム」に、全校生で「豆まき集会」を行いました。そのねらいは下記の通りです。



節分の意義を知ったり、退治したい心の鬼を発表したりして、伝統行事にふれることができる。

児童会の運営委員会が中心となって、「豆まき集会」の準備や運営を行いました。

「豆まき集会」の様子を紹介します。



各学年の代表児童が、自分の「追い払いたい心の鬼」をオンラインで発表しました。



図書委員が「豆まき」に関する「読み聞かせ」をオンラインで行いました。



5年生が各教室に出向いて、豆(新聞紙を丸めたもの)をまきました。鬼役は、6年生です。

新入生保護者説明会



1月28日(火)に、令和7年度に本校に入学する児童の保護者を対象として「新入児童説明会」を行いました。

入学予定児童数は、2月3日現在、19名となっています。